

試料・情報利用研究計画書(概要)					
研究番号	2024-1042	利用形態	共同研究		
研究題目	網羅的リスク因子解析による個別化予防医療の基盤構築		研究期間	2025年3月 ～ 2026年3月	
主たる研究機関	東北大学東北メディカル・メガバンク機構	責任者氏名・職	山本 雅之	機構長	
分担研究機関	ヤンセンファーマ株式会社	責任者氏名・職	岡田 欣也	Senior Principal Data Scientist	
研究目的と意義	本研究では、いずれも慢性炎症との関連が示唆されながらも、その関係性が十分に解明されていないアトピー性皮膚炎および認知症に着目し、東北メディカル・メガバンク機構(ToMMo)のコホート調査データを用いて、病態に関連するリスク因子(生活習慣、遺伝的バリエーション、人口統計学的因子、社会経済的因子や既往・併存疾患)を網羅的に探索します。また、共通のリスク因子や病態メカニズムを検討することで、2つの病態の関係性を明らかにすることを目的とします。				
研究計画概要	調査票に含まれる自己申告の既往歴や服薬情報、診療報酬明細書の診断疾患情報、またカルテ転記や母子健康手帳転記情報に記載された診断疾患情報にもとづき、アトピー性皮膚炎および認知症の病態の有無を定義します。アトピー性皮膚炎については「アトピー性皮膚炎に関する皮膚の健康調査:お肌チェック」、認知症については「脳と心の健康調査」データも活用します。これらの病態の有無に対して、コホート調査の各データ項目を用いた網羅的な関連解析を行い、リスク因子を探索します。さらに、共通するリスク因子の抽出やメンデルのランダム化法を用いた因果関係の推定といった分析手法により、2つの病態の関係性を評価します。				
利用試料・情報	対象:東北メディカル・メガバンク計画 地域住民コホート調査または三世代コホート調査に参加された方 約12万人 試料:なし 情報: ・基本情報(性別、年齢)、地域(沿岸、内陸)、調査票情報、検体検査情報、特定健康診査情報、生理学的検査情報、カルテ転記、母子健康手帳転記情報、診療報酬明細書 全ゲノム情報、SNPアレイ情報、メタボローム情報 ・「脳と心の健康調査」に参加されている場合は、脳画像データに由来する解析値、調査票 ・「アトピー性皮膚炎に関する皮膚の健康調査:お肌チェック」に参加されている場合は、調査票、皮膚科医による診断結果、皮膚画像				
期待される成果	将来的には、本研究の知見をもとに、より多くの病態間の関連性を解明することで、個別化予防医療の基盤構築につながることが期待されます。				
倫理審査等の経過	2025年3月 東北大学東北メディカル・メガバンク機構倫理審査委員会				
倫理面、セキュリティー面の配慮	三世代コホート調査および「アトピー性皮膚炎に関する皮膚の健康調査:お肌チェック」に参加された20歳未満の方々の情報は、アトピー性皮膚炎のリスク因子の探索のために利用し、同参加者に対する将来の認知症発症のリスク予測に用いることはしません。 これらの分析は、ToMMoおよびヤンセンファーマ株式会社が共同で実施します。また、両者による分析は、ToMMoのスーパーコンピュータにて、あるいは国内に設置した遠隔セキュリティルームより、同スーパーコンピュータに接続して行います。 解析結果は、論文、学会発表等で公表いたしますが、研究参加者にお返しすることはありません。この際、地域差別が生じないように地域を特定できる情報を含めない等、十分な配慮を行います。				
その他特記事項	この研究は共同研究費により実施します。				
	*公開日 2025年4月3日				